

施設選びの基準に

口腔ケア格付け制度開始

クロスケアデンタル

口腔ケアの指導などで介護施設の誤嚥性肺炎予防をサポートしているクロスケアデンタル（福岡市、瀧内博也代表）は7日、

介護施設を対象とした口腔ケアの格付け制度「ゼロプロスターズ」を開始した。施設の口腔ケアの質を3段階の星（★）で評価し公開することで、利用者や家族による施設選びの基準を提示する。

格付けの基準は3段階に別れており、星1つは地域の模範となる地域優

良施設、2つは専門的な予防体制が組織として確立された高水準予防施設。世界最高レベルに相当する3つは、口腔ケアを受けることを目的として入居する価値がある施設として評価する。

同社が施設に向けて口腔ケアの指導や誤嚥性肺炎予防のサポートなどを行う「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト」に参加している施設が対象。口腔内の状態や技術の高さ、実施体制、肺炎による入院実績など、多角的に審査する。現在は55施設が参加しており、そのうち24施設が1つの評価を受けている。